

日本原燃株式会社 再処理施設（2007年度第3四半期）

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}			比較対照区域 最小～最大	備考	平常の変動幅 ^{注1,注2}
	採取点	頻度	対象	頻度	対象	最小～最大	単位			最小～最大
海水	むつ小川原港 港湾区域内 むつ小川原港港湾 区域北側境界付近 むつ小川原港港湾 区域南側境界付近	1回/3ヵ月	³ H	1回/3ヵ月	³ H	N D	mBq/L	/	・採取日：2007.10.10	N D
			⁹⁰ Sr		⁹⁰ Sr	N D				ND～3
			γ核種		⁶⁰ Co	N D				N D
					¹⁰⁶ Ru	N D				N D
					¹³⁴ Cs	N D				N D
					¹³⁷ Cs	N D				N D
					¹⁴⁴ Ce	N D				N D
					¹⁵⁴ Eu	N D				N D
Pu(α) ^{注3}	Pu(α) ^{注3}	N D	N D							
海底土	放出口付近1地点 東約1km地点1点 西約1km地点1点 南約1km地点1点 北約1km地点1点 南約3km地点1点 北約3km地点1点 物見崎沖1点	1回/6ヵ月	⁹⁰ Sr	1回/6ヵ月	⁹⁰ Sr	N D	Bq/kg・乾	/	・第1四半期報告済 ・第3四半期採取日 ・2007.10.10	N D
			γ核種		⁶⁰ Co	N D				N D
					¹³⁴ Cs	N D				N D
					¹³⁷ Cs	N D				N D
					¹⁴⁴ Ce	N D				N D
					¹⁵⁴ Eu	N D				N D
			Pu(α) ^{注3}		Pu(α) ^{注3}	0.28～0.68				0.43
²⁴¹ Am	²⁴¹ Am	0.12～0.29	0.17							
²⁴⁴ Cm	²⁴⁴ Cm	N D	N D							
魚類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	³ H	1回/3ヵ月	³ H	N D	Bq/L	/	・採取日：2007.10.16 ・対象：ヒラメ	N D
			¹⁰⁶ Ru		¹⁰⁶ Ru	N D				N D
			Pu(α) ^{注3}		Pu(α) ^{注3}	N D				N D
貝類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/kg・生	/	・採取日：2007.10.11 ・対象：ムラサキイガイ	N D
			Pu(α) ^{注3}		Pu(α) ^{注3}	N D				ND～0.007
海藻類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/kg・生	/	・採取日：2007.10.12 ・対象：チガイソ	N D
			Pu(α) ^{注3}		Pu(α) ^{注3}	0.012				ND～0.012
漁網	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	表面線量率	1回/3ヵ月	γ線	N D	nGy/h	/	・設置期間： 2007.9.13～2007.12.12	N D
			吸収線量率		β線	N D				ND～50

注1) N D: 定量下限値未満を示す。

注2) 「平常の変動幅」とは、過去の測定結果(1998年度第3四半期～2006年度)のうち、再処理施設の平常運転に伴う変動を含めない最小値から最大値である。

ただし、上記の期間と異なる測定項目は以下のとおり。

・海底土のPu(α)、²⁴¹Am、²⁴⁴Cm及び海産物のPu(α)は2002年度～2006年度までである。

・漁網のγ線及びβ線は、2005年度～2006年度までである。

注3) Pu(α)：²³⁸Puと²³⁹⁺²⁴⁰Puの合計値を示す。

日本原燃株式会社 再処理施設（2007年度第3四半期）

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}			比較対照区域	備考	平常の変動幅 ^{注1,注2}	
	採取点	頻度	対象	頻度	対象	最小～最大	単位				最小～最大
空間放射線	線量率	敷地内9地点	連続	γ線	連続	モニタリング ポスト	13～75 ^{注3}	nGy/h		7～81 ^{注3}	
		敷地外3地点					モニタリング ステーション			16～79 ^{注3}	7～93 ^{注3}
空間放射線	積算線量	敷地内1地点	連続	γ線	1回/週	γ線	9.2～11.5	μSv/7日		6.2～12.9	
		敷地内9地点 敷地外14地点					1回/3か月			γ線	86～108
空気	浮遊じん	敷地内9地点	連続	全α放射能 全β放射能	連続	全α放射能 全β放射能	7.9 ^{注3} 6.0 ^{注3}	Bq/m ³		16 ^{注3} 8.7 ^{注3}	
		敷地外3地点		1回/週		全α放射能 全β放射能	*～0.17 0.30～0.84			mBq/m ³	*～0.37 *～1.2
		敷地内9地点 敷地外3地点		1回/3か月		¹⁰⁶ Ru Pu(α) ^{注4}	N D N D			mBq/m ³	N D N D
	気体状ベータ放射能濃度	敷地外3地点	連続	⁸⁵ Kr	連続	⁸⁵ Kr	ND～4 ^{注3,注5}	kBq/m ³		N D ^{注3}	
	ヨウ素	敷地外3地点	連続	¹³¹ I	1回/週	¹³¹ I	N D	mBq/m ³		N D	
	大気中湿分	敷地外3地点	連続	³ H	1回/月	³ H	N D	mBq/m ³		N D	
飲料水	敷地外4地点	1回/3か月	1回/3か月	³ H	³ H	N D	Bq/L		N D		
				⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	N D	N D				
				¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	mBq/L		N D		
				¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	N D	N D				
				Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	N D	N D				
陸土	表土	敷地内1地点 敷地外3地点	1回/年	⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr		Bq/kg・乾		1.5～9.4		
				¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru				N D		
				¹²⁹ I	¹²⁹ I				N D		
				¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs				8～37		
				Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}				0.23～0.91		
	²⁴¹ Am	²⁴¹ Am		0.09～0.33							
	²⁴⁴ Cm	²⁴⁴ Cm		N D							
	湖底土	敷地外1地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	N D	Bq/kg・乾		ND～0.5	
					¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	6			5～11	
					Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	1.1			0.97～1.3	
²⁴¹ Am					²⁴¹ Am	0.46	0.34～0.42				
²⁴⁴ Cm					²⁴⁴ Cm	N D	N D				
陸上植物	精米	敷地外3地点	1回/年	1回/年	¹⁴ C	¹⁴ C	0.25～0.26 ^{注6}	Bq/g・炭素		0.23～0.25	
					¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D			N D	
					Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	N D			N D	
	根菜	敷地外2地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/kg・生		N D	
					Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	N D			N D	
	葉菜	敷地外1地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/kg・生		N D	
Pu(α) ^{注4}					Pu(α) ^{注4}	N D	N D				
畜産物	牛乳	敷地外4地点	1回/3か月	1回/3か月	¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/L		N D	

注1) N D: 定量下限値未満を示す。

注2) 「平常の変動幅」とは、過去の測定結果(1998年度第3四半期～2006年度)のうち、再処理施設の平常運転に伴う変動を含めない最小値から最大値である。

ただし、上記の期間と異なる測定項目は以下のとおり。

・積算線量(測定頻度:1回/3か月)は、2003年第2四半期～2006年度までである。

・浮遊じん及び陸上植物のPu(α)、²⁴¹Am、²⁴⁴Cmは、2002年度～2006年度までである。

注3) 1時間平均値を示す。

注4) Pu(α):²³⁸Puと²³⁹⁺²⁴⁰Puの合計値を示す。

注5) モニタリングステーションにおいて、定量下限値を超えて測定された実績は以下のとおりであった。

モニタリングステーション二又局 : 10月1日(9時～10時) 3kBq/m³、10月29日(10時～11時) 2kBq/m³

モニタリングステーション室ノ久保局 : 10月28日(0時～1時) 3kBq/m³、10月28日(1時～2時) 4kBq/m³

モニタリングステーション老部川局 : 12月31日(15時～16時) 2kBq/m³

注6) 平常の変動幅を超えて測定された実績は、尾駈、戸鎖地点であり、いずれも0.26Bq/g・炭素であった。